

夢見るホッケー教室 in 京都大谷高校 実施報告書

- 1,事業名 夢見るホッケー教室 in 京都大谷高校
- 2,期日 令和 3 年 10 月 22 日(金) 16:00~20:00
- 3,会場 大谷高校内グラウンド
- 4,事業内容

(1)参加団体

京都大谷高校ホッケー部男子、女子、中学3年男子(参加者総数 60 名)

(2)講師

シギ・アイクマン(サムライジャパン日本代表ヘッドコーチ)

中條 友博(サムライジャパン日本代表アナリスト)

(3)日程及び内容

16:00~20:00

基礎技術の取得

初期段階での戦術の基本

(4)成果

大谷高校にてホッケークリニックを行った。

まずはアイクマンHCから生徒にどういったホッケーがしたいか、インタビューを行った。男子生徒がドリブルで強くなりたいという意見をだしたが、ホッケーでかつには何が必要か、どういう行動が勝利につながるかを指導し、その後基礎技術、パス技術の練習に移行した。

その後戦術では守備ではクリスマスツリー、攻撃ではバタフライの指導を行った。

以下生徒や顧問の先生の感想を共有させていただき、成果報告とさせていただきたいと思います。

- ・トラップを行うときはヘッド部分ではなく、シャフトを使うことでミスが減ること
- ・プッシュでのパスを出すときは左の脇を意識、引くことを意識する。
- ・パスを出した後に動く、レシーブ前に周りを見る、自己判断を行うことの大切さ。
- ・ミスを恐れずにチャレンジすることが大事。
- ・しっかりと考えて練習することで、短時間でも狭い場所でも効率よく練習ができた

(練習風景)

